

# メスプ NEWS

## 今月のテーマ

# 100歳まで生きるが当たり前の時代に ～「人生100年時代」はすぐそこに～

### ◆人生100年時代とは？

「人生100年時代」とは、100歳まで人生が続くのが当たり前となる時代のことです。リンダ・グラットンの著書「LIFE SHIFT—100年時代の人生戦略」（2016）が世界中で話題になり、日本でも広く知られるようになりました。

日本の高齢化の進展は著しく、2015年の平均寿命は男性約81歳、女性87歳に達しています。寿命の伸びは今後も続くと見込まれ、2050年には100歳以上の人口が現在の約7万人から70万人にまで増加すると推計されています。また、2007年生まれの日本人の半数は107歳まで生きられると予測されるなど、本格的な超高齢社会、「人生100年時代」の到来が見込まれています。

図1 平均寿命の推移と年齢別死亡数(2015年)



### ◆人生100年時代の実際

人生100年時代が到来すると、今まで常識とされてきた「教育→仕事(子育て)→引退」という人生モデルが崩壊すると考えられています。これまでは学校教育で20年、仕事で40年、引退後は余生と言われていましたが、これからは引退後の人生が40年もあり、新しい人生設計が必要となってきます。2017年には日本の国政においても「人生100年時代構想会議」が開かれ、教育への投資やキャリア形成などについて議論が交わされています。

特に人生100年時代で懸念されるのが、長期化する老後の経済的不安です。65歳まで働いたとしても、残り35年は定年後、もしくは現役引退期間になります。(将来的には定年が75歳になるともいわれています。)年金の受給開始年齢は引き上げられ、今後の少子高齢化のことを考えると、年金受給額の減額や医療費の自己負担が増大することも考えられます。まずは、どうすれば収入を得る期間(現役時代)を長くして、収入がない期間を短くすることができるかを、自身の状況に合わせて検討することが大切になってきます。

シニア雇用の拡大に伴って、企業側も年金の支給開始年齢を引き上げるほか、受給方法を柔軟にするなど、「人生100年時代」を前提にしたライフスタイルの多様化に合わせた年金制度の変更に動き出しています。年金制度の改革を実施した、または実施予定の主要企業は3割に達しています。

また、それに加えて健康的に活動できる期間＝健康寿命を維持することも重要です。高齢になっても「生涯現役」で社会的役割を発揮するためには、健康づくりや疾病予防を進めることが大切になってきます。



# 危険な外来生物

## ◆外来生物とは

外来生物とは、外来生物法では、「海外から我が国に導入されることによりその本来の生息地又は生育地の外に存することとなる生物」と定義されています。

日本に侵入してきた外来生物が、何らかの理由で自然界に逃げ出すことがあります。多くはそのまま生き続けることや、子孫を残すことが難しいと考えられていますが、定着する生物もいます。定着したすべての外来生物が周囲に悪影響を及ぼすわけではありませんが、生態系や人間の健康、農林水産業などに大きな被害を及ぼすことがあります。外来生物法では、こうした被害を及ぼす、または及ぼすおそれがあると認められる外来生物を、**特定外来生物**として指定し、その飼養、栽培、保管、運搬、輸入といった取扱いを規制しています。

### 《外来生物による被害》

#### ①生態系への被害

捕食したり、餌を奪ったりすることなどにより、もともとその地域にいる生物を駆逐してしまう。

#### ②人の生命・身体への被害

毒を持っている外来種にかまれたり、刺されたりする危険がある。

#### ③農林水産業への被害

農林水産物の食害や、畑の踏み荒らしなどで、収穫量の減少につながる。

## ◆危険な外来生物 16 種



セアカゴケグモ



ハイイロゴケグモ



カミツキガメ



アカカミアリ



ヒアリ



キョクトウサソリ



クロゴケグモ



カナダガン



タイワンハブ



アトラクス属  
(シドニージョウゴグモ等)



ハドロニユク属  
(キノポリジョウゴグモ等)



ドクイトグモ



イエイトグモ



ブラジルイトグモ



ジュウサンボシ  
ゴケグモ



コカミアリ

□ 東京都内で見つかったことのあるもの  
□ 東京都内で見つかったことのないもの

画像引用：東京都環境局 HP

## フランス豆知識

### ～乾杯のあいさつ「健康に！」～

フランス語で「乾杯！」は「サンテ！」と言います。直訳すると「健康に」です。日本でも「酒は百薬の長」ということわざがあるように、ヨーロッパでも「お酒＝ほどほどならば健康に良い」とされているのかもしれませんが。ワインを視覚・味覚・嗅覚だけでなく、聴覚でも楽しもうとするフランスらしいです。



### ♪今月の迷曲♪

(youtube で見られます)



(by 桜餅の葉っぱ)